

めいわ かわら版



岡村 祥子

明和苑 袋井北部 地域包括支援センター 介護支援専門員

2 001年(平成13年)新卒で社会福祉法人明和会に入職した岡村祥子さん。約20年にわたって明和会を支えてきた岡村さんに、仕事への思いや印象に残っている出来事、今後の目標などを伺いました。

現在担当している業務について教えてください。

私の所属している部署は、地域の高齢者向け相談窓口である袋井北部地域包括支援センターです。主な業務は寄せられた相談への対応と、介護保険で要支援と認定された方へのプラン作成、いわゆるケアマネジメントを担っています。

これまでにどのような経験をされましたか。

もともとは「知的障害のある方に関する仕事をしたい」と思い、入職しました。最初の2年間は障害者支援施設の袋井学園で勤務し、その後は障害者向け相談窓口である相談支援センターに3年間務めていました。さらに異動があり、現在の高齢者向けの部署に配

浸透しているのを肌で感じられるので、今後より多くの方々に愛されることを目指し、貢献できるよう努めていきます。

仕事への情熱を胸に強いプロ意識を持って、岡村さんは今後も明和会のために力を尽くしていくことでしょう。



<企業情報>
社会福祉法人明和会
■法人認可：1966年11月
■事業活動収入：21億円
※2019年6月時点
■問い合わせ先：0538-42-3228

私も一緒に来ると思っていたのですが、ご指摘を受けて、次回病院へ行く際には同行させていただきます。どんな些細なことでも、ご家族と密に連絡を取り合い、お互いの誤解がないようにすべきだと痛感した出来事です。

この大変な時期を、どのように乗り越えられたのでしょうか。

職場の仲間の存在があり、何とか乗り越えることができました。現在、私を含めて5人の職員が在籍し、いつも助けてもらっています。普段から相談しやすい環境ですので、1人で抱え込むことがなく済んでいるのだと思います。非常勤で時短勤務をする中、夕方以降に相談が入ったときには他のスタッフが代わってくれたり、子どもが熱を出した際には「休んでいいよ」と声をかけてもらったりと、つくづく周囲に恵まれているなと感じていますね。

印象に残っているエピソードはありますか。

個人的な話になってしまおうのですが

属されたのです。利用者様の中には、知的障害がある方も増えてきています。これまで障害者施設や相談窓口を務めていた経験が、今に活かしていると感じられる部分もありますね。ただ、障害者に関わる制度は日々変化するので、それぞれの部署に務める職員に相談したり、アドバイスをもらったりして連携を取るようになっています。

大変だった出来事はありませんか。

現在の部署に異動になって2年目ぐらいのときに、癌を患っていた利用者様の終末期のケアを担当したことです。家で看取りたいというご家族の希望だったので、体調がどんどん悪化してしまい、それに合わせてサージスを調整しなければなりません。訪問看護師さんから「ベッドを変えた方がいい」「訪問入浴を追加するべきでは」などのアドバイスをいただき、周囲の人に助けられながら業務に臨んだのを覚えています。

また、ご家族と連絡を取り合う中で行き違いが生じてしまい、不安にさせてしまったこともありました。利用者様を病院に送り届けるとき、私にはその認識がなかったのですが、ご家族は



拠点紹介

明和第一保育園

今回紹介するのは、明和第一保育園。園長の村松さんに、強みや独自の取り組みなど、様々なお話をお伺いしました！

明和第一保育園
園長
むらまつ せいいち
村松 清一さん



主な業務とメンバー構成について

一般的な保育の業務を行なっています。園児の定員は90人ですが、保育士の人数や施設の広さの関係から、現在は87人の園児を預かっています。



明和第一保育園の強み

保育士は18人いますが、平均年齢が40.5歳と高く、ベテランが多いことが特徴です。勤続年数も9.6年と明和会の他の3園と比べ、1番の長さです。なかには園長経験者がいたり地元の保育士もいるので、安定した保育を行なうことができます。今年は若くて元気な保育士が新しく入ってきたので、頑張ってくれると期待しています。また、私は前職では市役所に勤めていたもので、気兼ねなく、市役所職員と話したり連携したりできるという点も、強みの一つだと思います。



独自の取り組み

「エコパ」マーチングフェスティバルに開催当初の2005年から参加しています。しかし、今年はエコパの改修工事や新型コロナウイルスの関係で大きなステージでの発表は難しい状況です。運動会では5歳のみんなが板上りをします。板は2メートルの高さなので練習が大変です。また5歳の女の子はリズム発表会で日舞を披露します。他にも、地元の方が提供してくださっている畑で100本のさつまいもを植え、明和会の障害者施設の方々からアドバイスを参考に育てています。このようにイベントを活発に行なっているところが明和第一保育園の特徴だと思います。そして以前、ねむの木学園の宮城まり子さんが、子ども達を連れて来て、大きな壁にメルヘンな絵を描いてくれたことも自慢ポイントです。



思い出深いエピソード

卒園した子どもを運動会に招待していますが、毎年遊びに来られます。楽しさも倍増するので、非常に嬉しく思います。また保護者の方で、明和第一保育園の園児だった方に会ったときは歴史を感じました。鼓隊を子どもにも経験させたいという思いがあったという話を聞いたときは、やりがいを感じました。



今後の目標

目標は、事故なく安全に園児と楽しく過ごすことです。また、明和第一保育園の強みを自ら自信を持って発信できるように、そして誇りを持って仕事ができるように取り組んでいきます。これは私に限らず、保育園スタッフ全員が意識してほしいと思います。そして研修などを利用して今までの経験を広く提供し、防災や事務処理などの保育以外のことについてもスタッフ一丸となり行なっていきたいと考えています。

仕事のこだわり

毎日のお仕事の中、ここだけは譲れない！これが私の仕事スタイル！というこだわりはありませんか？
明和第一保育園の皆さんに仕事のこだわりを伺いました！

かわい ゆみこ
川井 有美子さん

私は「コミュニケーションの中で感謝の気持ちを伝えること」を大切にしています。仕事の中での職員間はもちろん、子ども達同士でも、誰かに何か助けてもらったときや、うれしいことがあったときにはすぐに「ありがとう」が伝えられるように働きかけています。



ほんだ やすよ
本多 靖代さん

私のこだわりは、同僚・保護者に対して些細なこと（「髪の毛切ったんだね」「今日の服可愛いですね」等）をきっかけにコミュニケーションを図り、信頼関係の構築に繋げていくことを大切にしています。さらに子ども達を楽しませるには、まずは、自分自身も楽しむこと。いつでもどこでもこの2点を忘れずに勤めています。



なぐら あつこ
名倉 敦子さん

子ども達と一緒に楽しめる活動を取り入れています。鬼ごっこや水鉄砲合戦も手加減しません！アラフォーですが、二重跳びと連続逆上がりができるのが自慢です。（笑）子ども達一人ひとりと丁寧に関わり、笑顔での対応を心がけて頑張っています。



やまざき ありさ
山崎 麻里紗さん

私は、常に子ども達と同じ気持ちで考えるように心がけています。子ども達と一緒に喜んだり、笑ったり、悲しんだり、考えてみたり……。1年間一緒に色々な経験を子ども達として、成長した姿がとても嬉しく、それがやりがいにも繋がっています。



いおべ まり
五百部 真里さん

私のこだわりは、家庭やプライベートで嫌なことがあっても、職場には持ち込まず、毎日笑顔で過ごすことです。その他にも、同僚や子ども達と挨拶や他愛もない話などでコミュニケーションをとり、和気あいあいと過ごせるように心がけています。毎日、いろいろなことがありますが、これからも頑張っていきたいと思っています。



つちや みほこ
土屋 実穂子さん

音楽が大好きなので、子ども達に「歌うことって楽しい」「リズムにのって体を動かすことって気持ちいい」と感じられるように色々な音楽を取り入れています。これからも子ども達のイキイキとした表情が見られるように、自分自身も一緒に楽しみながら保育していきたいと思っています。

